

史跡宇治川太閤堤跡保存整備フォーラム



じっくり
見よう!! 太閤堤



平成29年12月3日（日）

午後1時30分～午後4時30分

宇治公民館 第一会議室

プログラム

13：30 ～ 開会

開催趣旨

宇治市歴史まちづくり推進課 荒川 史

13：40 ～ 報告

「史跡宇治川太閤堤跡と宇治のまち」

宇治市歴史まちづくり推進課 大野 壽子

14：00 ～ 現地見学

15：30 ～ 休憩（質問用紙回収）

15：50 ～ ディスカッション

司会 歴史まちづくり推進課 荒川 史

都市整備部副部長 平野 正人

歴史まちづくり推進課 大野 壽子

岡 紗佑里

16：30 ～ 閉会

史跡宇治川太閤堤跡
と
宇治のまち

10年前の平成19年6月

宇治川太閤堤跡 発見！



京阪三室戸

発掘調査で見つかった太閤堤

左岸堤防(槇島堤)

京阪宇治

宇治上神社

JR宇治

平等院

遺跡の位置

発掘調査前

土地区画整備事業に伴う調査



乙方遺跡 という弥生時代から古墳時代の遺跡でした。

変な石が並んでる。何だろう？



石敷きが細長く伸び始める。
道かな??



宇治川の古い護岸施設がでてきた！



杭出し



石出し

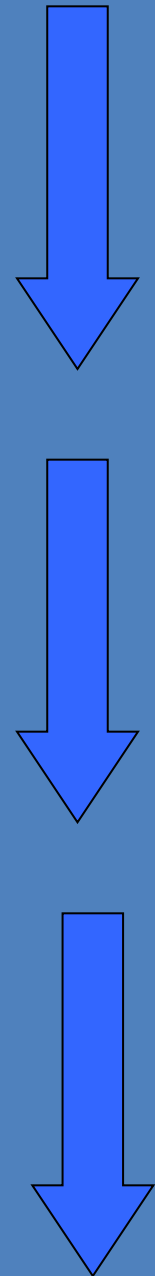


水制（出し、水はね）の効果

陸地

護岸

水流

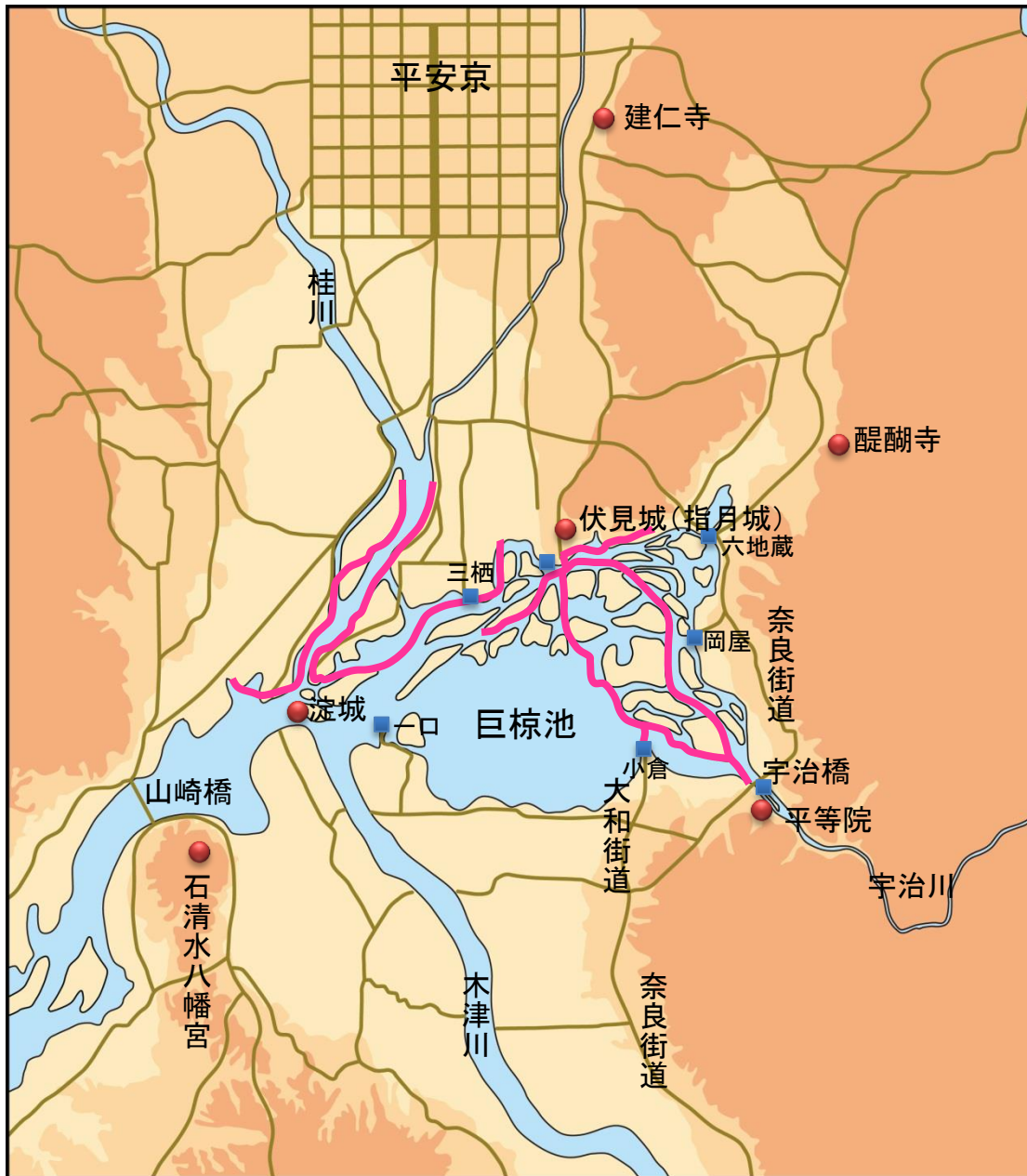


これって、どれくらい古いものなの？



戦国時代のお城の石垣と同じ石の積み方！！

太閤堤



「太閤堤」は、文禄3年(1594年)、豊臣秀吉の伏見城築城に伴って行われた、淀川・宇治川の大規模な治水土木工事の総称

宇治川と巨椋池を分離することで、水運航路の確保が実現

堤の上を道路として利用することで、新たな街道が形成され、人の流れが変化



伏見を陸上・水上交通の要衝に

太閤堤に関する記事

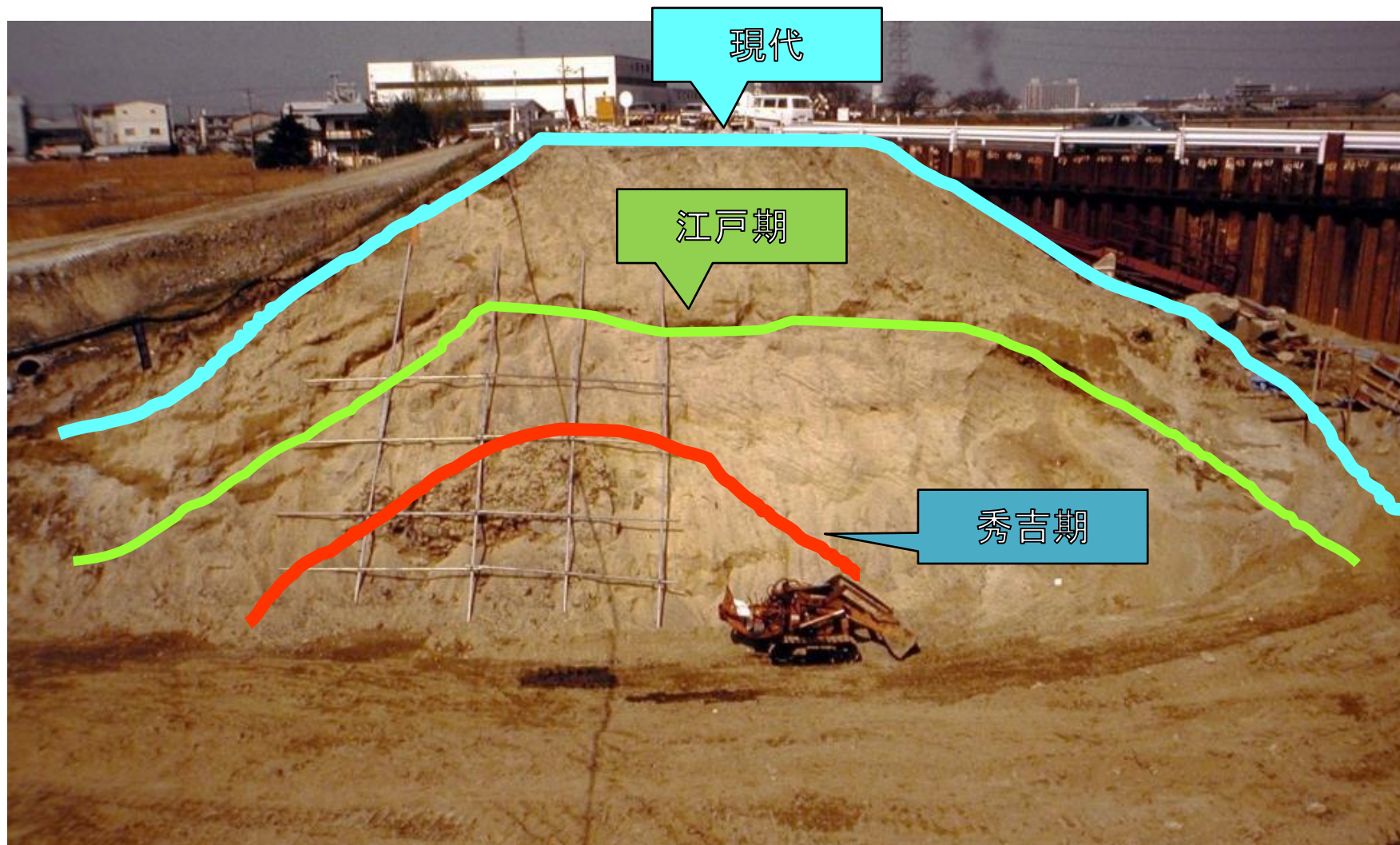
和暦	西暦	月	日	事件	出典
文禄3	1594	8	8	家康家臣 松平家忠 が 宇治川築堤 を秀吉から命じられ淀堤につく	『家忠日記』
			9	淀堤 が完成する	『家忠日記』
			25	徳川 に 真木嶋堤 の築堤役があたる	『家忠日記』
		10		秀吉が 前田利家 に 宇治川に堤防 を築かせる この工事に際して利家が家臣と土運びを行い、秀吉が船で激励に来る。大釜を川辺に十ほど作り粥を煮て五六千の者にふるまった	『村井重頼覚書』 『亜相公夜話』
				この年、岐阜城主 織田秀信 が 小倉伏見間に堤 を作り 宇治橋を撤去 する	『宇治里袋』
慶長1	1596	1	16	秀吉が 毛利輝元 、 小早川隆景 、 吉川広家 および東国の諸大名に 摂津の淀川に築堤 を命じる	『吉川家文書』
		6		淀川の築堤工事計15000間のうち、吉川広家に4000間が分担される	『吉川家文書』

明治末年頃の小倉堤



榎島堤の調査

(昭和54年)



現代に引き継がれる 秀吉の遺産



護岸施設の広がり

その後の調査で、護岸施設は総長400m以上
になることが明らかになりました。



①最初に見つかった場所
石積み護岸・石出し1・杭出し

上流

宇治川

下流

杭止め護岸 と 石出し2



石出し 3



石出し 4



平成21年 国史跡 宇治川太閤堤跡



宇治にとっての太閤堤

私たちのよく知る、現在の宇治川の川筋をつくり
よく利用する交通ルートをつくる

宇治茶の発展にも・・・





京阪宇治駅・宇治橋

太閤堤築堤により砂州の形成が促され、茶園の適地として利用されるようになります。その様子は現在も伝えられています。

太閤堤跡

①宇治茶の庇護者である秀吉とその偉業を示す太閤堤

②川筋の安定は舟運を促し、茶園栽培に必要な下肥を京都から宇治へ大量に運べるようになりました。製造された茶も船で京・大阪へと運ばれました

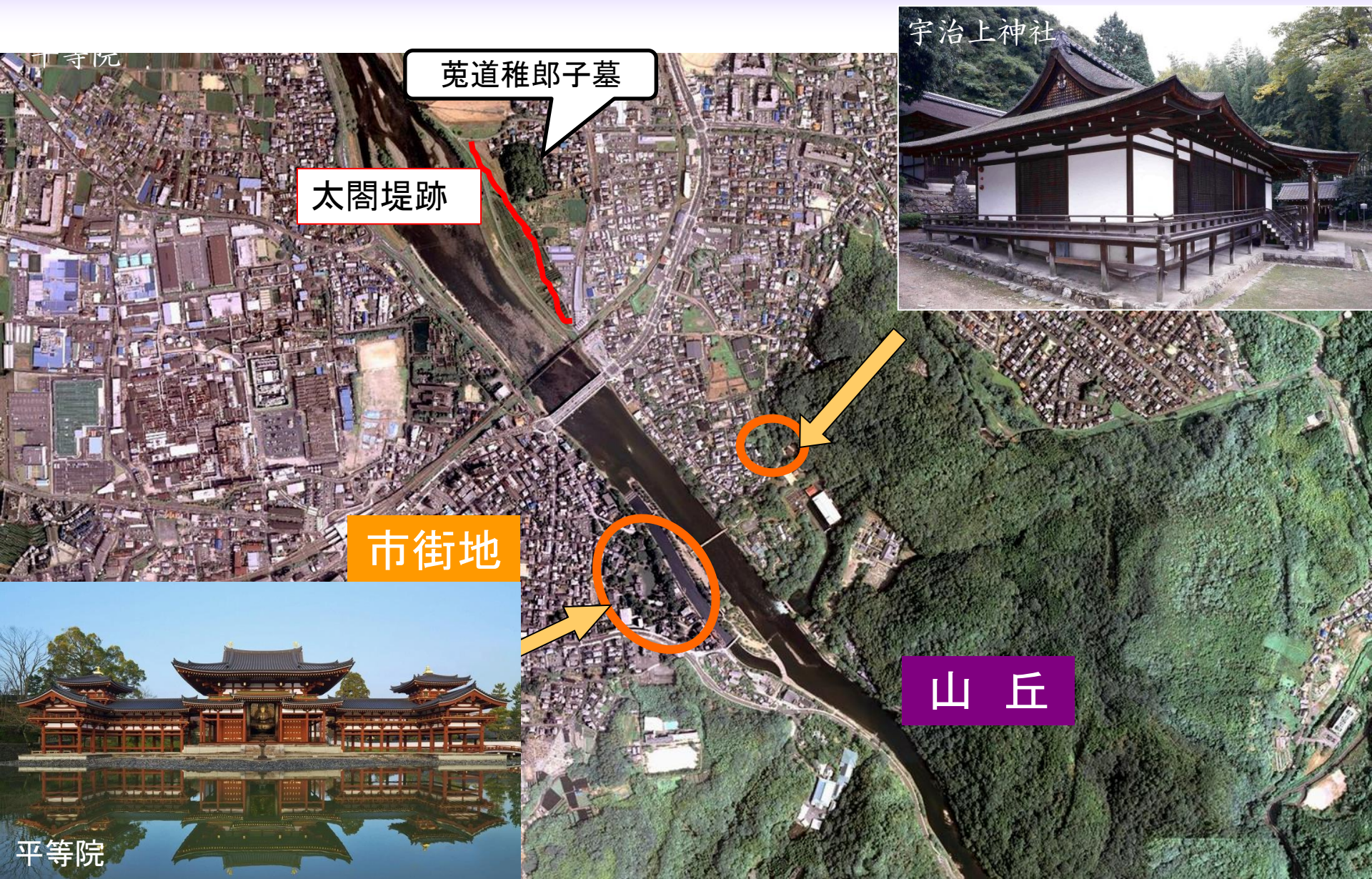
平安貴族の別業 宇治 から



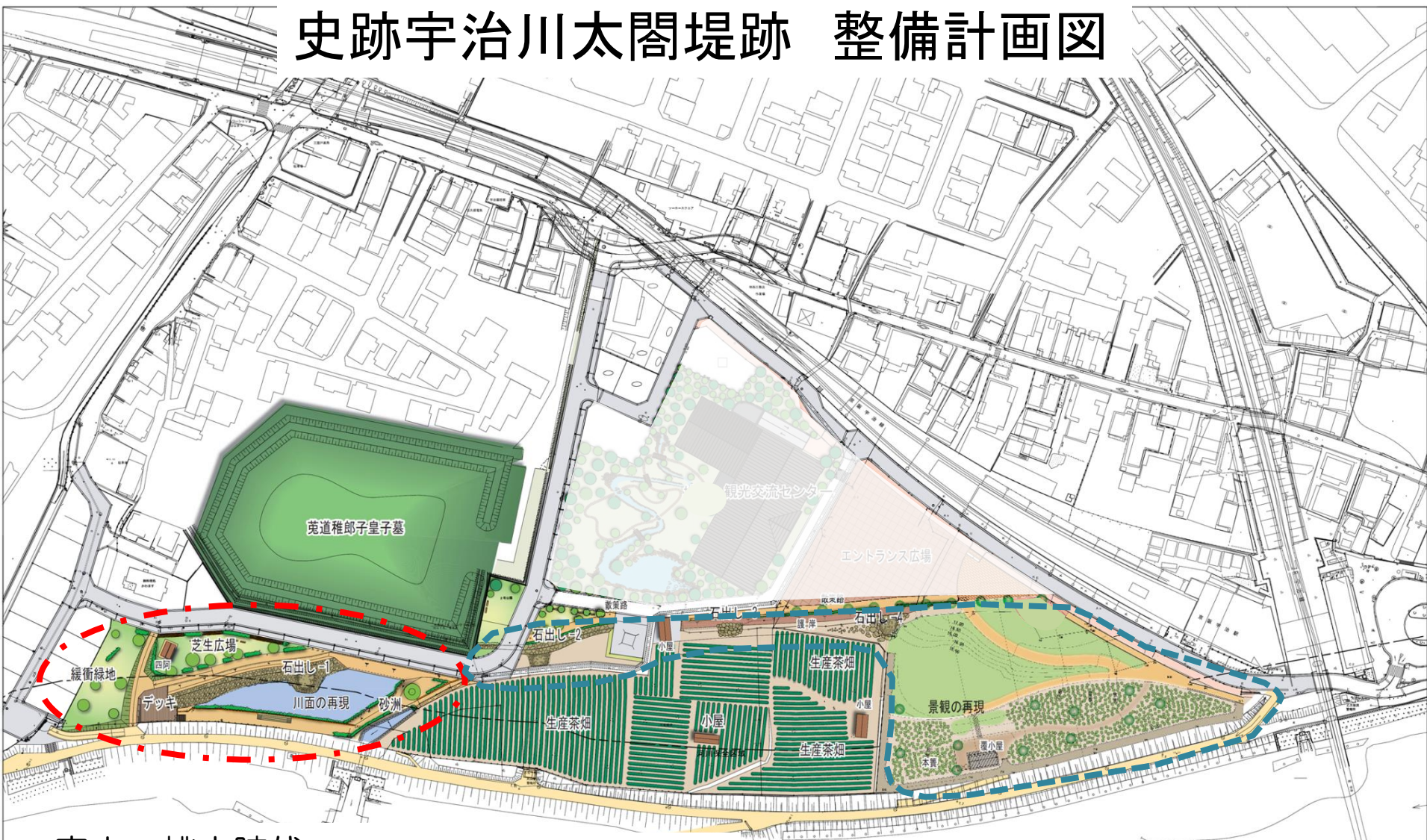
お茶のまち 宇治 へ



宇治の歴史・観光の中心部



史跡宇治川太閤堤跡 整備計画図



安土・桃山時代
の太閤堤を再現

現在
生産茶園

江戸から明治時代
砂州に埋まった太閤堤と茶園を再現

本計画図はイメージ図です。検討・協議中の部分も含まれます。

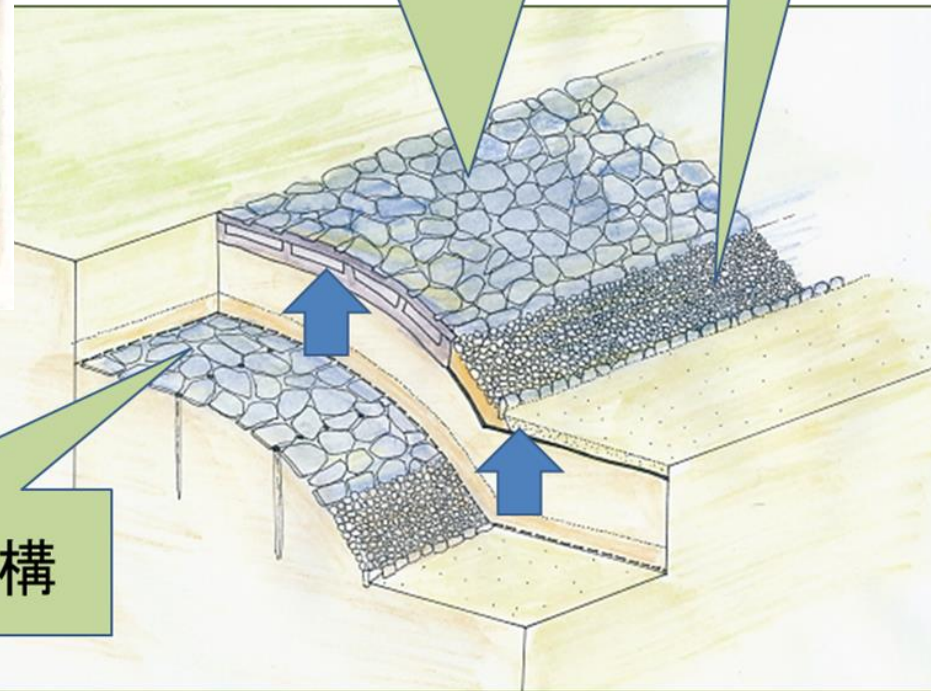
• 太閤堤の再現

秀吉がつくった護岸施設を最新の技術でそっくりそのまま再現！！



石による整備

再現パネルによる整備



実際の護岸遺構



シリコン製の型枠

石積み護岸の
石張り部
を再現した
GRCパネルを
設置しました



見学用のデッキ
を設置しました

- 江戸から明治時代の
砂州に埋もれる太閤堤と古式茶園

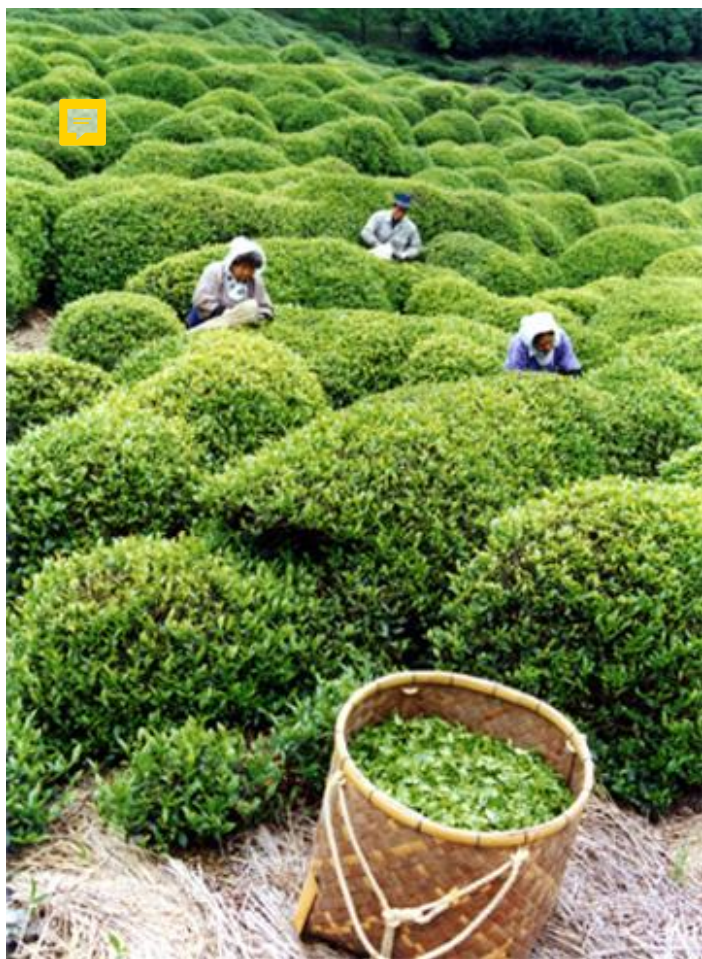


みんなで、お茶の
苗木を植えました。

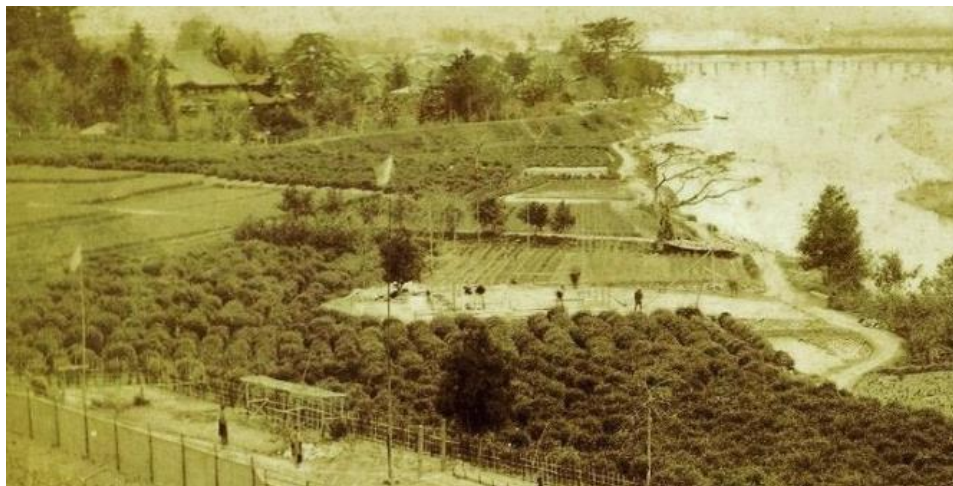
太閤堤から今につながる
宇治とお茶の歴史を伝える。

- 砂に埋もれていく太閤堤と

砂州に営まれた 茶園の景観 再現



伝統的な株植えの茶園。もこもことしっかりとしたボリュームのある茶株の連なりが美しい。



明治中頃の宇治川畔の茶園。見事な株植え茶園



整然とした畝状の茶畑は機械化の所産です